

テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

## FF14 備忘ログ(PATCH2.0) サブクエスト



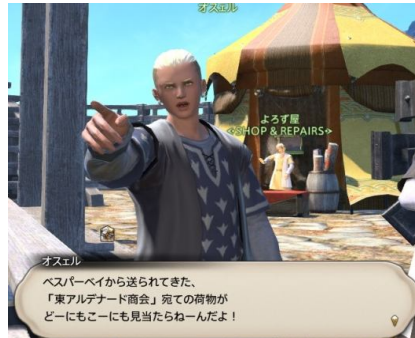
ザナラン編

西ザナラン

## お前ヒマか！？

オスエル： おいお前！ ヒマだな！ ヒマなんだろう！ 荷物配達の仕事を手伝え！  
ベスパーベイから送られてきた、「東アルデナード商会」宛ての荷物がどこにもここにも見当たらんやーんだよ！  
どいつもこいつも似たような箱しやがって！ 「東アルデナード商会の荷物」は全部で3つだ！ ソッコーで見つけて、持って来てくれよな！

オスエル： おーっしやこれだこれだ！ これで配達に間に合うぜ、ありがとよお！  
スコーピオン交易所ってのは、物資輸送の中継地点だ！ 西へ東へ、毎日目まぐるしく荷物が行き交ってるから、  
俺ら荷運び人もてんてこ舞いだ！  
昔なじみの友達と、一杯飲む時間もあやしねえ！ まーったく、もっと楽しく儲けてえぜ！



## 急場の閃き

グントラム： むぐぐ……これはやばい、やばいぞ。送り直させる時間などないし…… うーん、お、お前いいところに来たな。  
そこらにいる「カクター」を倒して「サボテン水」をとってきてくれないか？ そうだな4体分くらいあれば十分だ。  
理由なんて説明している時間はねえ。俺を助けると思って、頼んだぞ！ 大急ぎだ！

グントラム： 「カクター」から「サボテン水」を4体分とってきてくれ！ これがないと大変なことになるんだよ。  
ありがとう、依頼どおり持ってきてくれたな。実は、さっきウルダハ向けの積荷を開いたら、  
「ラザハンの化粧水」の中身が空っぽだったんだ。  
輸送中に瓶の蓋が緩んじまったみたいだ。とはいえ、納品予定に穴をあけるわけにはいかない！  
瓶の中に、このサボテン水をいれて納品するんだ。カクターが蓄えた水は肌にいいから、そこそこ効果はあるはずさ。  
ラザハンの化粧水は珍品だ。馴染みの品じゃない分、買った奴にもバレにくい。へへへ、俺とおまえの秘密だぞ？



## 羽毛に蠢く赤い影

**イメ**： ねえあなた！ 冒険者でしょ？ 魔物を倒すのは得意よね！  
これから集荷をしに行くために、ホライズンに行かなきゃいけないんだけど……。うちのチョコボ、スラッガーが歩こうとしてくれないの。  
よく見ると、スラッガーの羽毛の奥に、気持ち悪い触角がウヨウヨと……。パラサイト・レディバグがくっついてるかもしれないわ！  
スラッガーを調べて、スラッガーの羽毛の中に潜む、につっきパラサイト・レディバグを倒してちょうだい！

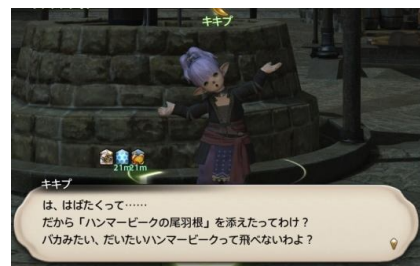
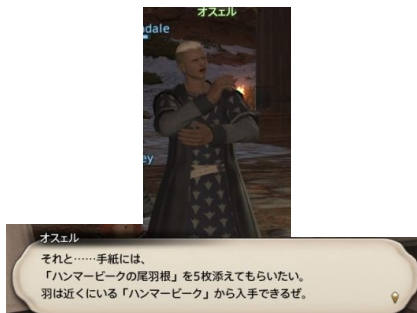
**スラッガー**： クエエ……クックエ……。  
クエーッ！！ クエックエッ！ クックエックエー！！

**イメ**： ありがとう、助かったわ〜！ スラッガーも「ありがとう」って言ってみたいよ？  
やっぱり原因はパラサイト・レディバグだったのね。まったく、荷運びの道中にくっついて、羽毛の中に隠れてたんだわ！  
物資輸送の要はチョコボだからね！ チョコボが病気になったら、仕事にならないわ。  
チョコボの健康には、もっと気をつけてあげなくちゃ！



## はばたけ、お前

**オスエル**： 俺ら荷運び人つたってよお、毎日毎日、人様の荷物を届けるので精一杯さ。馴染みの友達に書いた手紙も、届ける時間がありやしねえ。  
そうでお前、俺の代わりに「シルバーバザー」まで「キキブ宛の手紙」を配達してくれないか？  
それと……手紙には、「ハンマーピークの尾羽根」を5枚添えてもらいたい。羽は近くにいる「ハンマーピーク」から入手できるぜ。  
**キキブ**は古い馴染みでな。あいつの住んでる「シルバーバザー」に関して、  
最近、妙な噂を聞いて、ちょっと気になってるんだ。頼んだぜ。



**キキブ**： 何よ、あんた冒険者！？ もしかして、あいつらに雇われて嫌がらせに來たの？  
アタシはここを一歩だって動かないんだからねッ！  
「ハンマーピークの尾羽根」と手紙？ あら……この手紙、オスエルからじゃない。どういふ風の吹き回しかしら、どれどれ……。

**手紙**： 「キキブ、元気か？ シルバーバザーに立ち寄ることもめっきりなくなって、お前と会う機会も少なくなっちゃった。  
シルバーバザーは今、厄介事が起きてると聞いた。お前もそんなシケた集落で、いつまでも腐ってちゃ駄目だ。  
大きく羽を広げて、はばたくときじゃないか？」

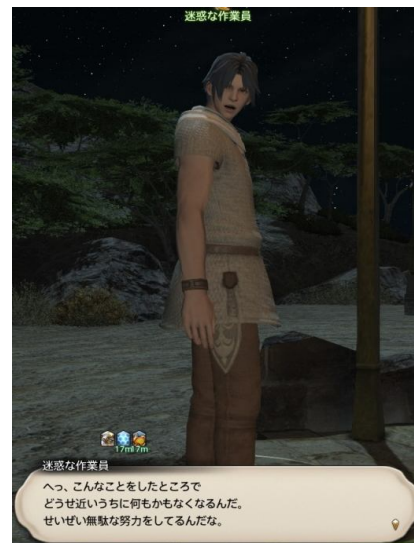
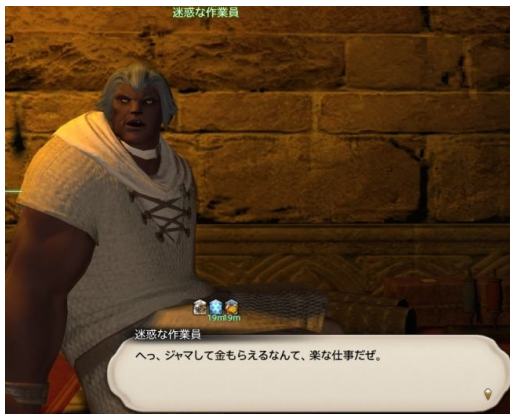
**キキブ**： は、はばたかって…… だから「ハンマーピークの尾羽根」を添えたってわけ？ バカみたい、だいたいハンマーピークって飛べないわよ？  
それに……悪いけど、余計なお世話よ！ 私はこの集落から、はばたくつもりは毛頭ないからね！  
ええ、デコでも動くもんですかッ！

## 迷惑な作業員

**キキブ**： あんた、よそ者にしてはイイ顔してるわね……。このキキブ姉さんのお願い、聞いてくれる？  
嫌がらせをしている、迷惑なやつらを追い出してほしいの！  
ここの東に、朝から晩までガッチンガッチンやってる大きな杭打塔があったのを見たかしら？  
そいつらは、あそこで働いてる作業員よ。  
……いえ、作業員というのは真っ赤なウソ。悪い奴に頼まれて嫌がらせをしてるのよ！  
住民を脅したり、店に難癖つけたり、やりたい放題なの！  
あんたみたいな冒険者が「問い詰め」てくれたら、ビビってどこかに行くはずよ。人助けだと思って、お願いきいてくれるかしら？

**迷惑な作業員**： へっ、ジャマして金もらえるなんて、楽な仕事だぜ。  
チッ、面倒くせえな、まったく……。あ～あ、キキブさえないなけりや、計画はすんなり進むのによオ。

**迷惑な作業員**： あ～ん！？ 何か用かよお！ 俺は休憩に忙しいんだぜえ～！？  
けっ……今日はこれくらいにしとくか。あ～、嫌がらせは楽しい～ぜ～！



**迷惑な作業員**： ふああ…… なんだよ、誰がなんと言おうと俺はここで寝るんだ。  
あーもー、うるせえなあ、眠れねえだろ！ シルバーバザーは人も落ち着けねえ、クソ集落だなあ！

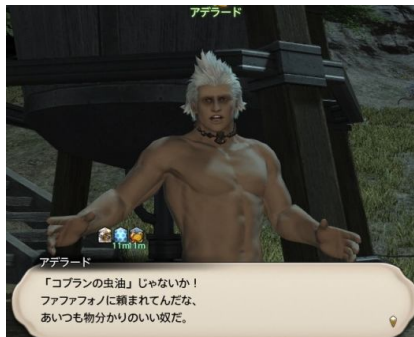
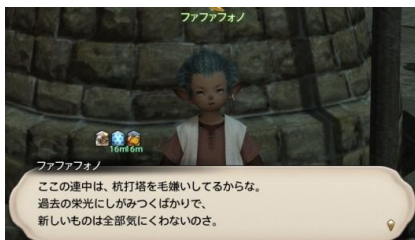
**迷惑な作業員**： うるせえなあ。見世物じゃねえぞ、あっち行け。  
……ったく、うるせえな。お前、あのキキブとかいうクソババアの差し金だろ？  
へっ、こんなことをしたところでどうせ近いうちに何もかもなくなるんだ。せいぜい無駄な努力をしてるんだな。

**キキブ**： ふーっ！ いなくなっってせいせいしたわ！ あいつらの狙いはわかってるの。住民を追い出して、ここの土地を買い上げるつもりよ。  
杭打塔は、地盤の基礎固め工事に建てられたの。目的はここの一帯に新しい高級居住地を作るため。  
シルバーバザーの土地も、その計画の範囲内。つまりやつらの目的は、「地上げ」よ！ この土地から私たちを追い出すつもりなの！  
フン！ 誰が逃げたりするもんですか！ 確かにこのシルバーバザーは寂れた集落、どんどん人が去って行って、店もまばらになってるわ。  
でも、ここは私の故郷、思い出の詰まった場所なの。このキキブの目の黒いうちは、金持ち連中なんかに負けないんだからねッ！



## あちこちの軋み

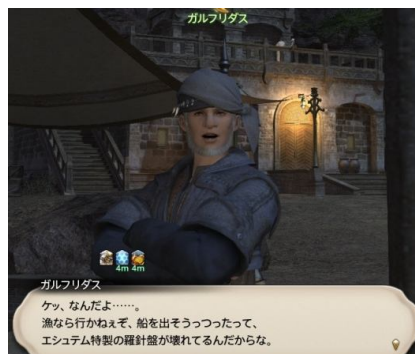
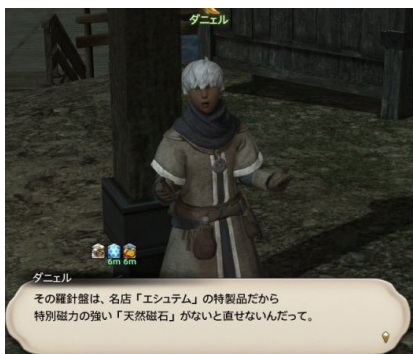
**ファファフォノ**：へっへっへ、ひとつ儲け話にのらないか。なあにそんなに難しいこっちゃねえよ。  
「ラスティコブラン」から「コブランの虫油」を4つとって「二号杭打塔」の「**アデラード**」に渡すだけだ。な？ 簡単だろ？  
この連中は、杭打塔を毛嫌いしてるからな。過去の栄光にしがみつくばかりで、新しいものは全部気に入らないのさ。  
俺もシルバーバザーの住人だがな、ここに未練はねえ。俺は金払いのいい方につくぜ。



**アデラード**：何だ？ 俺は砂の詰まった杭打塔の掃除で忙しい。「コブランの虫油」があればいいんだが……。  
「コブランの虫油」じゃないか！ **ファファフォノ**に頼まれてんだな、あいつも物分りのいい奴だ。  
この辺りは、じきに富豪向けの居住地になるんだ。だが、ちょっと地盤が不安定なもんで、こうして杭を打って造成してるのさ。  
本当はもっと広く……シルバーバザーの中心部まで居住地を広げる予定だったんだが、立ち退きがなかなか進まなくてな。  
キキッって言ったかな、大きな土地の権利を持ってる頑固なババアが、どうしても交渉に応じないらしい。  
全くこっちはいい迷惑だよ。

## 羅針盤の修理

**ダニエル**：ねえねえ、あんた冒険者だろ？ 俺の父ちゃん、なんとかしてくれよー！  
俺の父ちゃん、漁師のくせに、「羅針盤が壊れたから」って言って、漁に全然行かなくなっちゃったんだ。  
その羅針盤は、名店「エシュテム」の特製品だから特別磁力の強い「天然磁石」がないと直せないんだって。  
「天然磁石」は灯台の近くで採れるんだけど、磁力のせいで「アーススプライト」が集まりやすくて、俺じゃあ取ってこれないんだ……。  
3つくらいあれば、羅針盤を治せると思う。「天然磁石」は父ちゃん……**ガルフリダス**に渡して。  
どうせ集落の入口でぶらぶらしてる、すぐ見つかるよ。



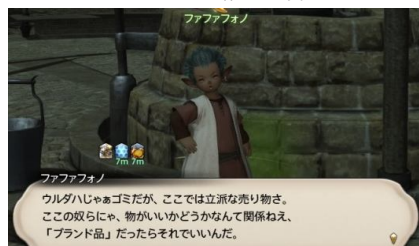
**ガルフリダス**：ケッ、なんだよ……。漁なら行かねえぞ、船を出そうつつたって、エシュテム特製の羅針盤が壊れてるんだからな。  
「天然磁石」だ？ **ダニエル**がお前に頼んだのか。へっ、羅針盤を直して漁に行けってことかい。  
……羅針盤が直ったところで、しみたれた小舟じゃあ、漁に出ても小銭稼ぎにしかなんねえよ。  
あーあ、羅針盤が壊れる前の港は良かったよ。多くの船がこの港に寄港し、多くの富が行き交っていた。  
想像できるか？ この港は夢のように輝いていたんだ。  
だが、大型船が主流となった今、小型船しか停泊できないシルバーバザーの港は、  
壊れた羅針盤みたいに、進むべき方向を見失っちゃった。  
……俺も同じか。大事な羅針盤が壊れて、俺の心も折れちゃった。息子にまで心配かけて……情けねえ父ちゃんだぜ。

## 落ちた誇り

ファファフォノ : くそっ、あの荷運び人、舐めやがって……！ ああ、あんたはさっきの冒険者か。  
ウルダハの商人に頼んでた品が届いたんだがよ、荷運び人が手を抜きやがったみたいで、  
運んできた荷物を、門の前に置いて帰りやがったんだ。  
ここが宛先だからって、適当な仕事しやがって……。へっ、お前は心優しい冒険者ってやつだろ？  
荷物を拾うのを手伝ってくれよ！

ファファフォノ : 荷物は箱に入ってる。全部で三つだ、頼んだぜ？

ファファフォノ : よしよし……注文分は揃ってるな、ありがとよ！ これは、ウルダハの名店「サンシルク」の衣装さ。  
といっても、どれも訳ありの「不良品」だけだな。  
ウルダハじゃあゴミだが、ここでは立派な売り物さ。ここの奴らにや、物がいいかどうかなんて関係ねえ、  
「ブランド品」だったらそれでいいんだ。  
金回りの良かった頃は、こんなことなかった。さびれた今、ここに残ってる連中なんてのは、  
プライドが高くて、薄っぺらい奴だけさ……。  
過去の繁栄にすぎりながら、誰も何も変わろうとしない。……時代に淘汰されるべきなんだよ、この集落は。



## 直る物と直らぬ物

ガルフリダス : ……石を持ってきてもらって悪いんだがよ 羅針盤を直しても、まだ船は出せねえんだ。  
なにしろ漁に使う「黄銅製のルアー」がねえからな。  
北東で野営している、盗賊のゴブリン・マガーに襲われて、何十個もあったルアーを全部取られちゃったんだ……。  
でも、アーススプライトを倒せたあんたなら「黄銅製のルアー」を取り返せるかもしれねえ。  
2個ばかり取り返してくれたら、なんとか漁ができるはずだ。俺が真人間になるためにも……協力してくれねえか？

ガルフリダス : 「黄銅製のルアー」を2個だ。息子のダニエルを安心させるためにも、頼むぜ。

ガルフリダス : 「黄銅製のルアー」を取り返したのか！ ……(はは、まさか本当に戻ってくるなんてな。  
ああ……でも、だめだこりゃ。どっちもボロッポロ、これは直しようがねえぜ……。  
……ナル神さまが言っているのかもしれない。直した羅針盤で、新天地を探せ……ってさ。  
俺が生まれ育ったシルバーバザーだが…… 地上げ屋にでも土地を売って、その金で引越してさ、  
新天地で仕事を見つかるってのも、いいのかもなあ……。



## 銀色に輝く故郷

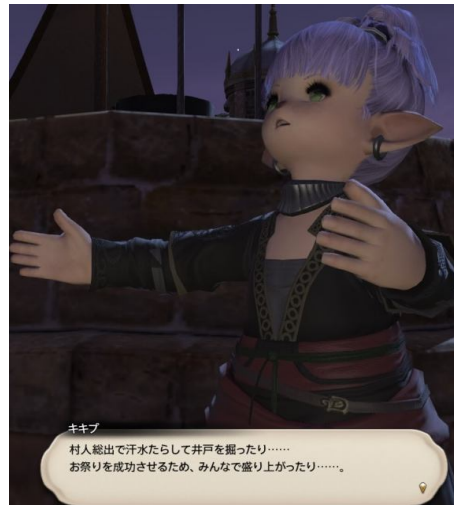
**キキブ** : ば、冒険者さん、た、大変よ！ シルバーバザー存亡の危機なの！ ついに、地上げ屋が本格的に動き出したの！  
奴ら、偽の買収契約書をでっちあげて、住人たちを強制的に排除するつもりらしいの！ そんなことしたら、このバザーはおしまいよ！

**????** : キキブさん、あなたもつくづく強情なお人だ。たった一言でいいんですよ。「我々に土地を譲り渡す」と言ってもらえませんかねエ？

**キキブ** : またアンタね！ 何度来ても答えは変わらないわよ！ シルバーバザーはワタシの大切な故郷なの。  
アンタなんかには絶対的にわたすもんですか！

**ケンリック** : ……………このアマア。下手に出てりゃ、つけあがりやがって！ オレのバックに誰がついてるか、知らねエのか？  
こんなクソみたいな集落、キレイサッパリ更地にしてやんよ！ おっと、もともと何もねエとこだがな。

**キキブ** : ……何もないですって？ ううん、それは違うわ。  
お客も、お金も……確かにこの集落には何もない。でも、ここには「思い出」があるの。私たち住民が暮らした、たくさんの思い出が……。  
村人総出で汗水たらして井戸を掘ったり……。 お祭りを成功させるため、みんなで盛り上がりたり……。  
それがこのシルバーバザー、私の生まれ故郷……。 そんな思い出を、アンタなんかには壊させないわ！



**ケンリック** : ……フン！ まあいい、もう土地買収は最終段階。バザー内の建造物に「差し押さえ証」を貼っておいた。  
いいか？ 間違っても「差し押さえ証」を剥がそうなんて、フザけたこと考えんじゃねエぞ？  
ウチの若い衆は、血の気の多い奴ばかりだからなァ！

**キキブ** : ◇◇◇、お願い……。 「差し押さえ証」を全部剥がして、ケンリックを追い出してちょうだい！！

**ケンリック** : あんだァ？ もう遅えんだよ！ 今、組の手配した解体屋がこっちに向かってんだ。  
「差し押さえ証」の貼ってある建物は、根こそぎドカーンだぜ？  
……どひョウッ！ こ、こここここれは「差し押さえ証」ッ！？ テメエ、これ全部剥がしたのかッ！？  
……ってことは、俺の部下たちは全員、お前が……。！？  
ち、ちくしょう、覚えてやがれッ！ 次はシャレにならん奴らをつれてきてやるッ！  
こんなバザー、丸ごと地図から消してやるからなッ！

**キキブ** : ……どうやら、**ケンリック**を追い返したみたいね。アイツの言う「シャレにならん奴ら」っていうのは怖いけど、  
とりえず当面はバザーも平和になりそう。  
……ありがとう。ふふふ、ちょっと照れくさいわね。お礼の言葉を言うなんて何年ぶりかしら。  
私はこのシルバーバザーを……私たちの故郷を、これからも頑張って守っていくわ！

**????** : 俺たちも手伝わせてくれよ、キキブ！

**キキブ** : あら、あなたたち……。

**ガルフリダス** : お前がケンリックの野郎に切った啖呵、聞いてたぜ。たしかにこの集落はなにもねエ。  
だが捨てるには、ちとばかし大切なものが多すぎらァ。

**ファファフォノ** : お前とはケンカばかりしてたが……それも大事な思い出だ。何もないなら、力を合わせてこれから何かを作らなくちゃな！



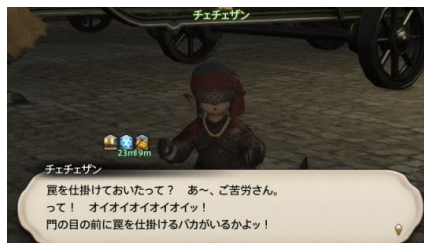
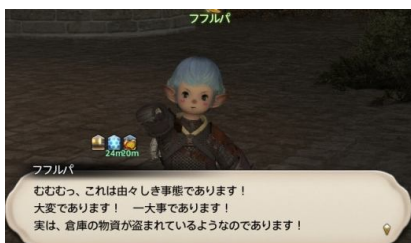
**キキブ**： みんな……ありがとう。◇◇◇、あなたもいろいろとありがとう。  
シルバーバザーからは、きらびやかな服も賑やかな船も無くなってしまったけど…… この集落に住む人たちの「思い出」がある。そして人がいる限り、そこには「希望」もあるわ。あなたが守ってくれたこの集落、これからもみんなで頑張って守っていくわ！  
あ、そうそう、この「モモディ宛の手紙」を、ウルダハの**モモディ**に持って行ってちょうだい。  
私、モモディとは昔なじみの。モモディなら、冒険者の貴方にぴったりの報酬を用意してくれるはずよ。

**モモディ**： あら、わたしに届け物？ 何かしら。  
手紙？ 一体誰かしら……。  
キキブからじゃない、珍しいわね。内容は……ふふっ、彼女らしいわね。  
まだシルバーバザーに活気があったころ、彼女のところへよく遊びに行ったわ。当時は一緒に、夜通し恋話をしたもののよ。  
キキブといったら、シルバーバザーの看板娘って、このウルダハでも評判だったんだから。  
それにしても、強制立ち退きを迫るなんて……。まったく、強引なやり方をする人達がいるのね。あなたが助けてくれてよかった。  
でも、わたしは何も心配なんてしてないわ。彼女のいるシルバーバザーだもの、きっと盛り返すに違いないわ。  
キキブとシルバーバザーを守ってくれてありがとう。わたしからもお礼をさせてちょうだい！



## フフルパのマヌケな罠

**フフルパ**： むむむっ、これは由々しき事態であります！ 大変であります！ 一大事であります！  
実は、倉庫の物資が盗まれているようなのであります！  
憎き犯人を捕まえるため、4個「トラバサミ」をしかけることになったであります。手伝ってほしいであります！  
終わったら、罠を用意してくれた銅刃団の仲間、「**チェチェザン**」君に報告するであります。お願いしたでありますっ！



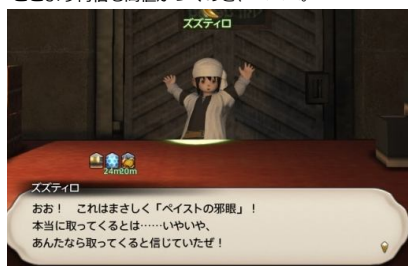
**チェチェザン**： 罠を仕掛けておいたって？ あへ、ご苦労さん。って！ オイオイオイオイオイ！  
門の目の前に罠を仕掛けるバカがいるかよ！  
商隊のチョコボが怪我でもしちまったら大変だ！ 罠は俺が片付けとくぜ。  
あへ、あんたには無駄な仕事させちまったな。すまん。  
**フフルパ**のやつ、余計なことをしてくれるぜ。あいつはイイ奴なんだが、頭にバカがつく真面目野郎なんだよな。



## ペイストの瞳

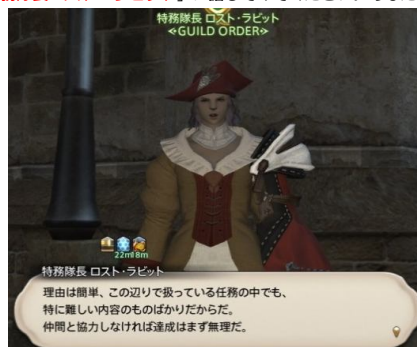
ズスティロ：なあ、あんた、一口儲け話に乗らねえか？ うさん臭い？ ははっ、とんでもねえ！ 本当においしい話なんだって。  
「ペイスト」って魔物を知ってるか？ 生物を石化させる能力を持つ魔物だが……  
その眼球を錬金液に漬けると、綺麗な赤い石になるんだ。  
それが、宝石の代わりになるってんで、高値で売れるのさ。報酬は弾んでやっから、ペイストを倒して、  
「ペイストの邪眼」を4個とってきてくれ。

ズスティロ：「ペイストの邪眼」は4個集まったかい？ あんたの腕なら「ペイスト」を倒して眼球を取ってくるくらい簡単だろう？  
おお！ これはまさしく「ペイストの邪眼」！ 本当にとってくるとは……いやいや、あんたなら取ってくると信じていたぜ！  
こいつはグリダニアへ出荷して捌く予定だ。黒衣森にはペイストは生息していないからな。  
ここより何倍も高値がつくのさ、へへへ。



## 発令ギルドオーダー（ウルダハ）

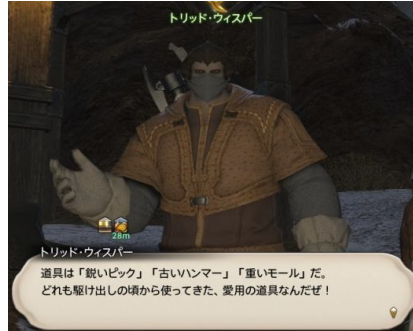
トトノフ：ギルドリーヴをこなせるあなたなら、「ギルドオーダー」も依頼できそうですね。  
興味があるなら、そちらにいる「特務隊長ロスト・ラビット」に話してみてください。あなたの冒険者としての実力は私が保証します。



特務隊長 ロスト・ラビット：トトノフから聞いているよ。「ギルドオーダー」の任務を任せられる実力者だってね。  
では早速、「ギルドオーダー」の説明をしよう。  
こいつは、ギルドリーヴとはまた違った特殊な任務だ。ひとりでは達成できないのが、大きな特徴だな。  
理由は簡単、この辺りで扱っている任務の中でも、特に難しい内容のものばかりだからだ。  
仲間と協力しなければ達成はまず無理だ。  
そのかわり、達成できた時の報酬は期待していい。特に、初めて任務をこなしたときには、報酬にボーナスをつけてあげよう。  
任務を受けたい時は私に声をかけてくれ。

## 大事な採掘道具

- トリッド・ウィズパー : おお、あんた冒険者だろ？ ちょっと頼まれてくれ！  
坑道で魔物が出たってんで大急ぎで逃げて来たんだが、やれやれ、と思って手元見たら採掘道具が1個もねえ！  
慌てたせいで全部置いてきちゃったんだな。  
頼む、俺の代わりに採掘道具を取ってきてくれ。道具は「鋭いピック」「古いハンマー」「重いモール」の3つだ。
- トリッド・ウィズパー : 道具は「鋭いピック」「古いハンマー」「重いモール」だ。どれも駆け出しの頃から使ってきた、愛用の道具なんだぜ！  
おお！ これだこれだ！ よかった、全部無事だったんだな。  
別の鉱山で、また採掘仕事を探そうにも道具がなけりや何もできねえからな。  
おかげで食いつぶれずにすんだよ、ありがとな！



## モングレルは旅の友

- チェチェザン : お前、仕事を探しているのか？ だったら、ちょうど良かった。  
集落の南に棲みついている「モングレル」から「モングレルの血」を4体ぶんとしてきてくれないか。  
集まった「モングレルの血」は、銅刃団の衛兵「ノノンゾ」という男に渡してほしい。  
ノノンゾには、このホライズンを出て、街道沿いに進めば、出会えるはずだ、頼んだぞ。

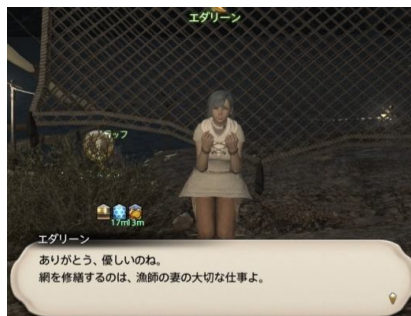


- ノノンゾ : なんだい、僕に何か用かい？  
こいつは「モングレルの血」か！ 助かったよ、これでようやくホライズンに帰れそうだ。  
モングレルってのは、さまざまな獣にとって天敵だからね。その血を使って作った香を、篝火に入れて焚くと獣避けになるんだよ。  
ホライズンでも、獣避けの香を使っているから、こうして銅刃団の衛兵が、交代で血を集めるんだが……  
人手不足で苦労しているね。  
まあそれはともかく…… 君の協力が必要な分は集まった、感謝するよ！

## 願いを編みこんで

エダリーン： ねえ、少し時間ある？ 網の手入れを手伝ってほしいの。  
そこに広げてある底曳き網は、魚をとるときに海底を引きずるから、漁のたびに、ゴミを引っ掛けてしまうの。  
からみついたゴミを取り除いて、網をきれいにしてくださらない？

エダリーン： ありがとう、優しいのね。網を修繕するのは、漁師の妻の大切な仕事よ。  
大漁と航海の安全を願い、心をこめて網を繕う…… これで海に出ている夫にも、祈りがきつと届くと思うわ。



## オロポンを追っ払え！

トトルナ： あんた、冒険者だよな？ せっかく来たんだ、ガキの使いじゃあるめえし、ひとつ仕事をくれてやるよ。  
現在、ホライズンの警備を担当している銅刃団ローズ連隊、バレルドウィン連隊長率いる本隊は  
呪術士ギルドのお偉方と、遺跡の奥を調査中だ。  
連隊長が帰ってきたとき、安全を確保するため、このあたりの「オロポン」を6匹ほど倒しといてくれ。

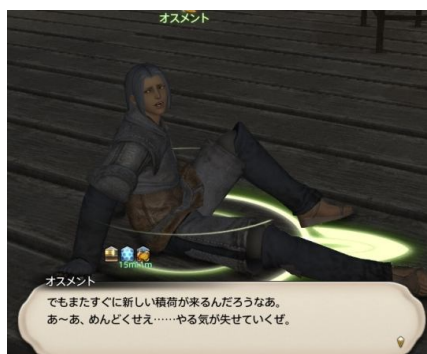
トトルナ： ご苦労だったな。警備がそれなりにやりやすくなったぜ。  
本隊が守っていれば、俺たちの手なんか必要ないだろうが、まあ、万一つことがあったらまずいからな。  
なんてったって、調査団はやんごとない方たちだ。たとえかすり傷ひとつでも、怪我したら、俺たち全員の首が飛んじまう。



## 無気力男のゴミ掃除

オスメント： はあ……面倒くせえ……。あ～あ、もう何もする気がおきねえよ。  
見てくれ、この荷物。リムサ・ロミンサから来た商人が、置いていったんだ。  
売り物なんかじゃねえよ、全部腐っちゃったゴミさ。  
ったく、自分たちの土地じゃねえからって、ほったらかしにしやがって……。  
あんた、俺の代わりにゴミを片付けてくれねえか？ 俺はもうやりたくねえんだよ。

オスメント： さっぱりしたら少しやる気が出てきたかな。うん、ありがとうよ。  
でもまたすぐに新しい積荷が来るんだろうなあ。あ～あ、めんどくせえ……やる気が失せていくぜ。



## 鮮やかなる染色世界

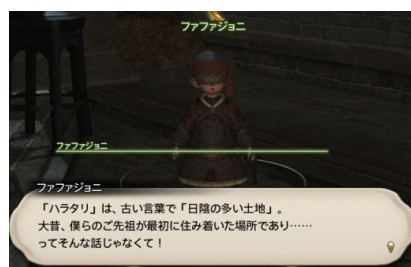
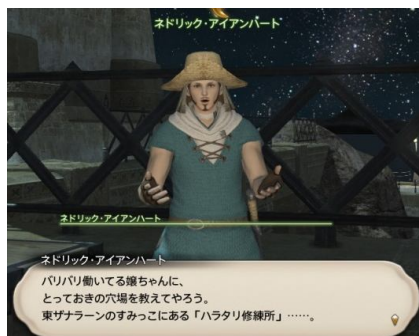
スウィルゲイム：そこのイケてない冒険者のアナタ！ この美の伝道師、アナタを見てビビッときたわん！  
熏る戦いの残香、鉄と脂と血の臭い！ 実用一辺倒の、オシャレとは言えないその姿！  
なんだかどうてもイケてない加減が実にステキ！  
イケてない冒険者を、鮮やかな色に染め上げることこそ、アテクシが神より授かった天命なんだわっ！  
……って確信したのよ、たった今。  
さっそくアナタに教えてあげる……と言いたいけど、本格的に喋る前にちょっと、口を湿らせたいわね。  
アナタ、ちょっと頼まれてくれる？ 「オレンジジュース」を買ってきなさい。「染色」のレクチャーはそれからよ。

スウィルゲイム：「オレンジジュース」はまだなのオン？ ワルい人ね、いつまでアテクシを待たせる気かしら？  
ほア……これで人心地ついたかしら。喉の調子もイイ感じになってきたわア。それじゃあ、始めましょうか？  
いいこと？ アナタがイケてない理由…… それは装備品の「染色」をしてないからだわ！  
装備品は「カララント」を使うことで、誰でも手軽に、様々な色へと染めることができるの。  
装備品を「染色」しても性能は変わらないし、気に入らなければ、何度色を変えたっていいワケ。  
何の心配もなく、美を追求できちゃうのよオ。  
さあ、分かったらアナタもやってみなさい！ 買った装備品、作った装備品をそのまま着るだけの、  
イケてない冒険者ライフは今日でオサラバよ〜ッ！



## ハラタリ修練所への誘い

ネドリック・アイアンハート：いよう、嬢ちゃん。俺は、ネドリック・アイアンハート。探検家だ。  
バリバリ働いてる嬢ちゃんに、とっておきの穴場を教えてやろう。東ザナランのすみっこにある「ハラタリ修練所」……。  
100年前に建設された、剣闘士のための修練所さ。第七霊災のゴタゴタで放棄されちゃったんだが……。  
今、中がおもしろいことになってるって噂だ。  
興味があるなら、入り口にいる銅刃団員…… 「ファファジョニ」という奴に声をかけてみな。  
俺から話は通しておいたから、中へ案内してくれるはずだ。



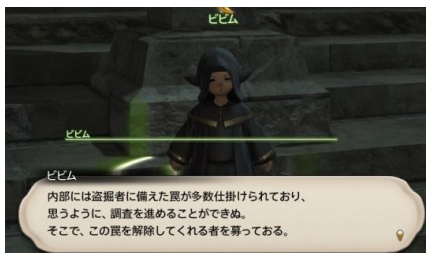
ファファジョニ：ななな、なんの御用ですか！ ここが「ハラタリ修練所」だをご存知で！？  
「ハラタリ」は、古い言葉で「日陰の多い土地」。大昔、僕らのご先祖が最初に住み着いた場所であり……  
ってそんな話じゃなくて！  
ほら、耳をすませてごらんなさい。……大地を震わす、低い唸りが聞こえるでしょう？  
あれは風の音じゃない、飢えた獣の鳴き声です。闘技場で見世物にするために飼われていた獣が、  
今でもまだ、生きている……。  
しかも、とびきり凶暴な奴ばかり！ 僕ら銅刃団も、手出しできずにいるのが現状です。ですからあなたも……  
ええっ、あなたが◆◆さん？ もちろん話は聞いていますが…… くれぐれも、新しいエサにならないでくださいな。



## カルン埋没寺院への蠱惑

ネドリック・アイアンハート : いうよ、嬢ちゃん。そろそろ、新たな冒険の舞台に飢えてるんじゃないか？  
そんな嬢ちゃんに「カルン埋没寺院」を紹介しよう。霊災後の地殻変動で発見された、今節、話題の遺跡だ。  
行っておかなけりや、夢追い人の名が泣くぜ？  
「カルン埋没寺院」は南ザナランにある。入口で警備をしてる「ビビム」という奴に頼めば、中に入れてもらえるだろうよ。

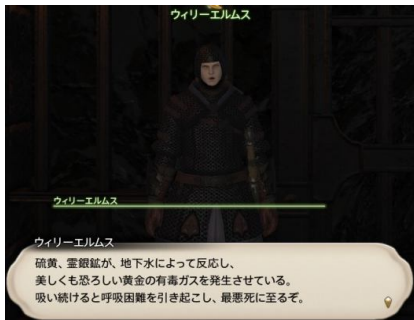
ビビム : この遺跡は「カルン埋没寺院」。古代都市ベラフディアの者らが、日神「アーゼマ」を祀るために建てたものだ。  
現在、調査隊によって、内部調査が進められようとしておるのだが……  
内部には盗掘者に備えた罠が多数仕掛けられており、思うように、調査を進めることができぬ。  
そこで、この罠を解除してくれる者を募っておる。  
すでに、何組かの冒険者を送りこんではいるのだが…… 未だに成果は上がっていない、とだけ言っておこう。  
力ある冒険者よ、どうか支援をお願いする！



## 黄金の谷、オーラムヴェイル

ネドリック・アイアンハート : いうよ、嬢ちゃん。相変わらず、大活躍だと聞いているぜ。奮闘に敬意を表して、新たな冒険の舞台を教えてやろう。  
新たな舞台は、クルザス中央高地の西「オーラムヴェイル」。入り口にいる「ウィリーエルムス」に話しかけるといい。  
俺の名を出せば、くわしい話が聞けるだろうさ。

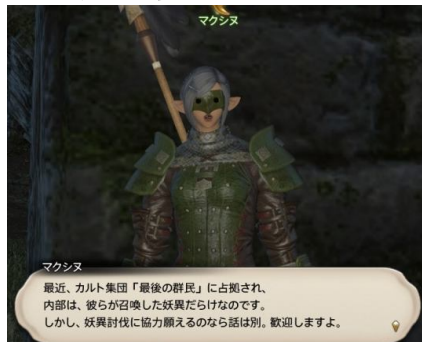
ウィリーエルムス : 冒険者が何用か？ ……ほう、ネドリックの紹介か。この「オーラムヴェイル」へ入りたいというのか？  
いくら凄腕の冒険者といえど、甘く見ると痛い目にあうぞ。ここは天然の洞穴、金の谷などと呼ばれているが……。  
その名の由来は、内部にある金色の毒の沼だ。  
硫黄、雲銀鉱が、地下水によって反応し、美しくも恐ろしい黄金の有毒ガスを発生させている。  
吸い続けると呼吸困難を引き起こし、最悪死に至るぞ。  
ここまで聞いておきながら、引き下がる気が無いのであれば、勝手にしろ。  
……せいぜい、無駄死だけはするなよ。



## 古城アムダプールの面影

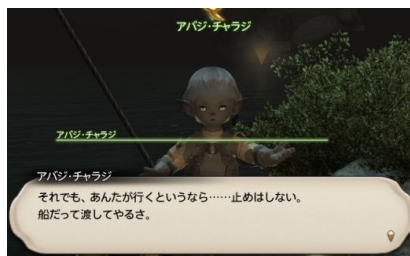
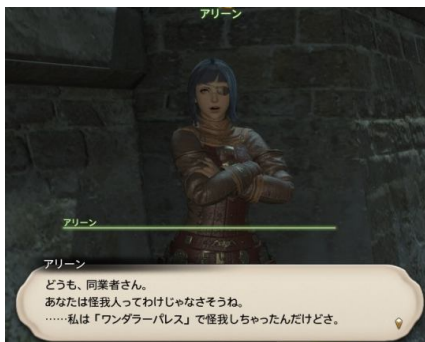
ネドリック・アイアンハート：嬢ちゃん。どうよ、最近、刺激は足りて……ないって顔だな。  
わかるぜ、冒険者や探検家ってのは、刺激がないと死んでしまう生き物だからな。  
それじゃ、新たな刺激のご紹介ってやつだ。その名も「古城アムダプール」！  
グリダニアは南部森林にある、**第五星歴時代の遺跡**さ。興味があるなら、入口の「**マクシヌ**」に話しかけな。  
きっと最高の刺激を味わえると思うぜ。

マクシヌ：……ネドリックの紹介ですか。なかなか有能な冒険者でいらっしゃるようですが……。  
もし物見遊山に來たのなら、お帰り下さい。……かつて、一大魔法文明によって繁栄したと言われる、  
大国の美しい古城の面影は、もうありませんから。  
最近、カルト集団「最後の群民」に占拠され、内部は、彼らが召喚した妖異だらけなのです。  
しかし、妖異討伐に協力願えるのなら話は別。歓迎しますよ。



## ワンダラーパレスは死の香り

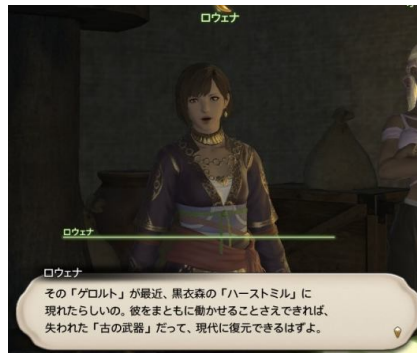
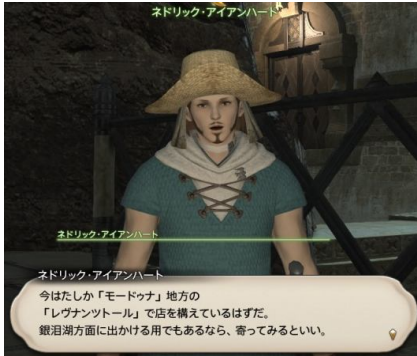
アリーン：どうも、同業者さん。あなたは怪我入ってわけじゃなさそうね。……私は「ワンダラーパレス」で怪我しちゃったんだけどさ。  
霊災によってブロンズレイク湖の水位が下がったあとに姿を現した謎の遺跡、それが「ワンダラーパレス」よ。  
私と仲間は、お宝目当てにそこへ探検に行ったわけ。  
内部はまるで、夢のようだったわ。綺麗びやかな装飾に、宝の山……。  
まさか、あんな神殿が湖の底に沈んでたなんてね。  
あなたも命知らずの冒険者なら、興味があるでしょ？ 船着場で「**アバジ・チャラジ**」に話すといいわ。  
近くまで船で運んでくれるはずよ。



アバジ・チャラジ：……あんたも、アリーンに言われて来たクチか？ あいつめ、あそこで仲間を失ってからというもの、  
冒険者に片っ端から声をかけやがる……。  
……お宝目当てで「ワンダラーパレス」に侵入した俺たちは、そこに棲んでいた、伝説の魔物「トンベリ」に襲われた。  
結果はこのザマ、生き残ったのは俺とアリーの2人だけさ。……ほかの仲間は殺られちゃった。  
お宝なんて目にする間もなかったさ。  
それでも、あんたが行くというなら……止めはしない。船だって渡してやるさ。  
……恋人を失った辛さは理解せんでもないが、何も見ず知らずの冒険者まで巻き添えにしないで。  
アリーン、今のお前はまるで死神だよ……。

## 伝説の武具職人

**ネドリック・アイアンハート**： いうよ、嬢ちゃん。秘境や迷宮で頼りになるのは、己の腕と武具だけ……。だからこそ、今回はある人物を紹介してやろう。名前は「**ロウェナ**」。古代アラグの遺物みたいな珍品と引き替えに、上物の武具を融通してくれる商人さ。今はたしか「モードゥナ」地方の「レヴナンツツール」で店を構えているはずだ。銀泪湖方面に出かける用でもあるなら、寄ってみるといい。



**ロウェナ**： ネドリックの知り合いですって？ ということは、あんた、それなりの腕なんでしょ？ お得意さんになってくれそうだから、ひとつ情報をあげる。  
「**ゲロルト**」って名前の武具職人がいるんだけど知ってる？ その腕前は、エオルゼア随一といわれるほど。でも、性根のほうは最低のト腐れ野郎でね。  
若い頃に恩師でもある鍛冶屋の親方を、酔った勢いでタコ殴りにして破門されて以来……。各地を流浪して、その日暮らしをしている流れの職人なの。  
彼とは、あたしが武器商人だった頃からの古い付き合いでね。ある時なんか、鼻水垂らしながら泣いて頼みこむもんだから、仕方なく金を貸してやったら……。見事にとんずらされたわ。  
その「ゲロルト」が最近、黒衣森の「ハーストミル」に現れたらしいの。彼をまともに働かせることさえできれば、失われた「古の武器」だって、現代に復元できるはずよ。  
もし興味があるのなら、あたしの債権書を譲ってあげる。これさえあれば「ゲロルト」を働かせる口実は何と作れるだろうね。

**ゲロルト**： 貧乏臭せえ冒険者が、なんの用だ？ ああん？ 「古の武器」を復元してほしいだとオ？  
なんでオレが、見ず知らずのデメエに、そんなことを……。ま、まさか、それは「ロウェナの債権書」！ なんでそれを……。いや、待て、ゼニはもうねえ！  
見ての通り、酒代のツケを払うため、ヤカン作りをさせられているくれえなんだ！  
当代随一の武具職人とまで呼ばれたゲロルト様が、酒場で使う真鍮のヤカンだぞ？ わかるか、この屈辱ッ！  
……。チツ、仕方ねえなあ。「古の武器」とやらを作ってやらんでねえから、そのおっか？ねえ、紙切れはしまってくれよな？